

会員生協の活動報告 & 予定案内

福井大学
生協

学生への食糧支援を実施しました



食糧支援セットの一部

福井大学からの依頼で、生活困窮学生への食糧支援を実施しました。

福井県民生協（ハーツ志比口店、レインボーファーム）の協力を得、支援する食糧品をCOOP商品の中から、有志の学生に選んでもらいました。

基本的にレンジアップの商品にしよう。メイン食材によって、テーマを分けよう。デザートも必ず入れよう。等、コロナ下で、なかなか自分たちの活動ができなかった学生達が、和気あいあいと自分たちが欲しいモノを選別してくれました。その結果、「ごはんおかずセット」「パスタセット」「インスタントセット」等々5つのテーマに分けられ、大学の了承をいただき、実施となりました。

募集は前半後半に分けられ、前半は208名の応募があり、10月4日から順に配布が始まりました。



受取を待つ支援品



福井県
医療生協

たすけっと「だん・だん」 第5回 食料無料支援プロジェクト

さらに支援の輪広がる！ひとり親家庭など約90名来場

第5回はシングルマザーさんなどひとり親家庭を主な対象に、10月24日（日）ハピリン4階で開催。

新たにご協力いただいた「坂井農業女子」所属の農家さんや継続してご協力いただいている福井市・越前市のお百姓さん、「NPO法人フードバンクふくい」からたくさんのお芋類、お米の他、採れたての菜っ葉類や果物、卵などが揃いまるで八百屋さんほどの品ぞろえに。

また、シングルマザーさん支援を主としたため、使わなくなったおもちゃ、絵本、子ども服もたくさん届きました。

また、福井市からは期限の近い缶詰やビスケットなど非常用食料・飲料水をたくさんいただきました。

当日は1時間前より待つ切実な男性2名をはじめとし

て、子どもさん連れのシングルマザーさん、高齢者さん、シルバーカーを押した足が不自由な方など約90名が来場。「私ひとりの収入で苦しく助かる」「妻に先立たれ一人暮らしで困っていた」などの声が聞かれ、新鮮な野菜などを喜んでおられました。

まだまだ続くコロナ禍。支援をさらに広げ続けます。

広がるボランティアさんの輪！！

第1回から生協理事や支部長さんなどの役員さんにはご協力いただいておりますが、さらに、第3回からは支部運営委員さんやボランティアさんの参加へと支援の輪が広がっています。第4回からは実行委員会を持ち、さらにボランティアさんの参加が増えました。ほとんど組合員さんですが、医療生協の助け合いの活動に感動し、生協加入につながった方も！第4・5回ともボランティアさん参加は9名ですが、今回新たな顔が2名増えました！

第6回は12月28日（火）10時～県社会福祉センター。年末支援の予定です。



ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地（県民生協本部センター内）

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2021年11月19日 No.133

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

福井県県民安全課との

懇談会を 開催しました

日時 8月6日（金）10時30分～11時50分

会場 福井県教育センター 3階会議室

出席者 【福井県】 前川昭彦課長、前川友子統括主任

【生協連合会】 松宮幹雄会長理事、橋谷和憲副会長理事、
武田道夫副会長理事、織田 良専務理事、嶋崎邦彦理事、
堀内紀宏理事、大塚健治理事、中川敦士理事 【総数10名】



福井県生協連では、生協担当課である福井県安全環境部 県民安全課との懇談会を毎年1回開催しています。県民安全課からは前川昭彦課長を迎え、消費者支援対策、第2次消費者教育推進計画の目標や重点項目、啓発活動についてお話いただきました。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、福井県消費生活センターには、インターネット通販のトラブルや定期購入のトラブルの相談が増加しているとのことでした。

2022年4月1日より、成年年齢が18歳になることについて、コロナ禍の影響もあり大学生を含む若者の対人スキルが弱まっていることの懸念と、それに伴い消費者トラブルが急増することが予測されることから、大学生協をはじめとする生協と連携して注意喚起を進めていくことを話し合いました。

また、高齢者の支援について、特に運転免許証返納後のサポートの必要性に触れられ、返納時に各生協が取り組んでいるサービスを案内していくことの提案がありました。

会員生協からは各生協の事業・活動を説明し、生協への理解を深めていただきました。また、今年度の生協指導検査について、スケジュールなどを確認しました。

今回の懇談会においても、活発な意見交換がなされ、消費者教育推進や消費者支援について、生協の果たす役割を再認識、今後の連携をさらに密にし協力していくことを確認しました。



「生協ボランティア月間」が始まります。

2021年11月15日～2022年2月15日

福井県内生協ボランティア活動の一環として今年も「生協ボランティア月間」に取り組みます。古切手、書き損じ葉書、外国コイン、ベルマークを集めますので、ご協力ください。集まった収集物は福井県ボランティアセンターなどを通じて収集ボランティア団体からコレクターなどに売られて換金され、売上金が福祉活動に活用されます。

お問い合わせは、福井県生協連合会 事務局まで。



福井県協同組合連絡会 視察研修に参加しました

福井県協同組合連絡会（JA中央会、経済連、漁連、森連、生協連）では、毎年各協同組合の施設を視察しながら交流を図っています。今年は福井県経済農業協同組合連合会の関係する施設を視察しました。

2021年9月9日(木)

視察先

- 福井パールライス株式会社
- 株式会社しゃりー（福井市高木中央）
- ファーマーズマーケット「きららの丘」
- 「農産物選果場」（あわら市牛山）



午前中の視察先は、「福井パールライス(株)」と、「^{しゃりー いち}しゃりー」です。福井パールライスは、「いちほまれ」「コシヒカリ」をはじめとする福井米の精米を担っています。「精米HACCP」の認証を取得し、3段階にわたるチェックでガラスや金属片などの異物の混入を防ぎ、安全で安心な米を消費者に届けています。視察当日は令和3年産の新米コシヒカリ初出荷をひかえ、到着した玄米が続々と荷受け、精米されていました。

同じ敷地内にあるしゃりーでは、1時間あたり精米420kg分を炊飯できるガス窯をそなえ、最先端の設備と徹底した衛生管理で、おいしくて安全・安心なごはんを製造しています。また、小売店などのさまざまなニーズに応じて、おにぎり用のごはん、寿司用の酢飯の成型加工も行っています。

福井パールライスの前川社長や土井業務部長のお話では、昨年は、外食産業の営業時間短縮や酒類の提供自粛（福井パールライスは酒米の精米も行って）のため、精米量は令和元年に比べて1万俵（酒米は2.5万俵）少なかったとのことでした。米もコロナ禍と無縁ではないのですね。



午後からは、あわら市にある「きららの丘」と農産物選果場へ。あわら市牛山にある選果場は、効率化を図って、三国、あわら、金津にあった5か所の選果場を集約したものです。すいか、メロン、なし、かき、にんじん、トマトの選果を行っています。豊水なしの選果と出荷がピークを迎え、忙しく作業されているところを視察させていただきました。機械化されている部分も多いものの、キズやかたちなどは、人の目と手による選別が不可欠で、農産物の生産と流通には多くの労力が費やされていることを改めて認識しました。

併設された、スイカの屋根がかわいらしい直売所「きららの丘」では、安全・安心な農産物が毎日ならび、この日は、なし、シャインマスカット、すいか、さつまいも、かぼちゃなどが販売されていました。どれも目移りするほど立派で新鮮です。



視察したすべての施設で、ロボットやデータ管理システムのような最先端の技術導入による効率化が進んでいることがわかった一方、従来どおりの、人による丁寧な作業の大切さも感じました。



第63回 福井県労働者共済生活協同組合 通常総代会報告

第63回通常総代会を開催しました

「第63回福井県労働者共済生活協同組合通常総代会」が7月28日(水)に福井県国際交流会館で開催され、すべての議案が承認されました。2020年度(2021年5月31日時点)の事業状況は以下のとおりです。

1. 事業概況 ※総合(慶弔)共済事業	2. 組合員数および組合員 出資金額
(1) 加入状況 35,075件 251,105口	(1) 組合員数 93,098人
(2) 給付状況 1,444件 21,639,500円	(2) 出資金額 601,858,000円

月日
2021年7月28日(水)
13:30~
会場
福井県
国際交流会館

通常総代会終了後、「こくみん共済coop 福井推進本部第4回組合員代表者会議」が開催され、2020年度活動報告および2021年度推進活動計画などの全議案が承認されました。

2021年度推進活動の重点実行課題として、①社会課題と連動した共済推進活動の展開、②ライフイベント(結婚・出生・退職など)の変化やライフスタイルの多様化に合わせた生活保障設計運動の展開、③福井労済生協創立60周年記念事業の展開、などの取り組みをすすめていきます。



福井労済生協は創立60周年を迎えました

福井労済生協は、1961年11月1日に法人認可を取得してから今年11月1日に創立60周年を迎えました。これまでの組合員のみならずからのご愛顧・ご協力に感謝の意を表するとともに、これからも「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現に向けて、組合員や協力団体とともに労済運動・共済事業の発展を目指し歩み続けます。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、記念式典やレセプションなどの行事は開催中止といたしました。

